

0929	0921	0918	0916	0905	0858	0833	0825	0817	0758	0752	0745	0739	0733
N	☆ (N) 茶壺のイベントをやっています その中で八女茶のPR 試飲販売をやっています。	N	☆ (N) こんにちは	N	☆ (N) 拍手	☆ (歌) 茶山で結んだ縁だもの はあ もましやれもましやれ トコサイサイ	N	→ この祭典が終わると八女の秋がさらに深まる	→ “わが町”で取れる自慢の農産物も題材に	→ この日のために準備した手作りの「あかり絵」を 引いて古い町並みを練り歩く	→ 八女市内の保育園・幼稚園・小中学生にとって 秋の大イベント	→ 八女のまつり あかりの祭典	N
生産者であると同時にPRの先頭にも立ちます。	今日は何をしていますか？			この日行われていたのは、お茶で九州をひとつに つなぐというイベント。 ステージの脇には生産者・中嶋 <small>なかしま</small> さんの姿も。		博多の中心街で八女に伝わる「茶摘み唄 <small>ちやつみうた</small> 」が響き渡りました。 十月。							夕暮れ時。 八女の街に、祭囃子 <small>まつりばやし</small> が賑わいを添 <small>そ</small> えます。

0934	☆ (㊦) 八女茶いかがでしょうか？ どうぞ飲んでください おいしい八女茶です。 「ありがとうございます」 「おいしかった」 「甘くておいしいです」
0954	N 「八女茶のおいしさ」を消費者に直接届けたい。 その思いが、生産者を動かしています。
1005	N この日は、日本最初の禪寺という「聖福寺」でもあるセレモニーが行われていました。
1015	N 建立したのは臨済宗の開祖としても有名な栄西禪師。喫茶の法を確立した「茶祖」とも呼ばれています。
1028	N 境内では、茶の歴史に感謝を込め、九州のお茶の産地から運ばれた茶壺を奉納する「献上茶壺式典」がおこなわれていました。
1041	N 境内の池の傍らに、特別に用意された場所で行われるのは「口切りの儀」。
1050	N この年は、献上茶を代表して「八女伝統本玉露」の茶壺が封を切られることとなりました。
1104	N 茶壺の口が切られます。
1112	N 茶壺の中に入れられていたのは、五月の初旬、八十八夜の前後に摘まれたお茶の葉。こうした行事も、お茶と人々の間を取り持つ大きな役割を果たしているのです。
1134	N 主催者の徳永さんは

1141	<p>このイベントにある願いを込めると言います。</p> <p>☆(2) 三つのポイントがありましてひとつは「歴史への感謝」。</p> <p>もうひとつは「生産者を守る」。</p> <p>三番目は「未来への伝承」</p> <p>この三つをキーワードにしています。</p>
1158	<p>N 特に未来を担<sup>に</sup>う子どもたちには強い思いがあるそうです。</p>
1204	<p>☆(2) お茶を飲むことは一つの習慣</p> <p>☆(2) 小さな子どもに小さな頃から飲ませていく食体験。</p> <p>“お茶の力で育てたい子どもの味覚”と考えています。</p>